



梅の木 チヨキチヨキ 運試し

「やあ、キヨウダイ」

「なんだい、キヨウダイ？」

「俺たちは運がいい。」

他の枝はチヨキチヨキ切られてんのに、

この枝だけは切られないだろ」

「いやいや、僕たちが止まってるから

遠慮してくれてるんだよ。」

だって梅の木の剪定では、ほとんどの枝に

鋏を入れると聞いたことがある」

「え、そっなのかい!？」

じゃあ、俺たちが止まってることも含めて、

木の全体を見てくれてるってことが」

「そっ。だから、そういう人の

世話になれてるこの木の運がいいんだ」

「だったら、やっぱり俺たちは運がいい」

「そっだな、キヨウダイ！

では、そろそろ行くっか」

チヨッキン！



てゐるよりも

梅の木の剪定は、年数回。余分な枝を落とすことが主体の夏季剪定に対して、冬季剪定は花や実のつき方を左右する重要な作業。熟練の知識と技術が必要です。

剪定するとき匠に見えているのは、来年、再来年、果ては数年先に梅の実がなる様子。ある枝から今年は両手いっぱいの実が採れても、来年は片手いっぱいほどに。数年はそれで安定しても、他の枝に影を作るだろうと予見する。そうであれば次の若い芽が育つようにと、余分な枝々に「今までありがとう」と伝えながら、^{はきみ} 欠を入れてゆくのです。

梅の木は、枝先に欠を入れれば花芽を吹かせて実をならし、枝元に欠を入れれば成長を遅らせませす。親が子を育てるように、上司が部下を育てるように、良いところを見つけ て伸ばす。ヒトのそんな有様と梅の剪定、少し似ていますよね。良いところを伸ばすには、成長を見守り続けることが大切です。次回は12月にお届けします。どうぞ健やかに、お過ごしください♪



▲ デルター株式会社

<https://www.deltar.co.jp/>

〒444-0863 愛知県岡崎市東明大寺町9-10

TEL : 0564-65-1088 FAX : 0564-65-7060 E-mail : info@deltar.co.jp